

6 2030年度の千葉県の温室効果ガス排出量

6-1 千葉県の二酸化炭素排出量・削減量

「5 温室効果ガス排出削減目標」で目標を設定した4つの主体以外の取組による二酸化炭素排出削減量については、国の温暖化対策計画で示された削減量をもとに、出荷額やエネルギー消費量などの県と国の比を用いて按分して算出しています。

4主体とそれ以外の取組を含めた、千葉県全体の二酸化炭素の排出量・削減量は以下の表のとおりです。

網掛けした項目は、4主体の排出量・削減量に対応する項目です。

表6-1-1 千葉県の二酸化炭素排出量・削減量 (千t-CO₂)

部門	2013年度①	2030年度 BAU ②	削減量③		2030年度 ④ ②-③	2013 年度比 (④-①)/①
				うち電力排出 係数分※		
エネルギー転換部門	4,767	4,139	380	1	3,759	▲ 21.1%
産業部門	36,199	38,399	4,985	973	33,414	▲ 7.7%
うち製造業	35,057	37,232	4,720	973	32,512	▲ 7.3%
うち非製造業	1,142	1,167	265	0	902	▲ 21.0%
家庭部門	8,798	8,168	3,115	718	5,053	▲ 42.6%
業務部門	11,686	10,315	3,692	845	6,623	▲ 43.3%
運輸部門	11,897	11,502	3,148	72	8,354	▲ 29.8%
うち自動車旅客	5,570	5,553	1,536	72	4,017	▲ 27.7%
うち自動車貨物	3,355	3,916	813	0	3,103	▲ 7.5%
その他	2,972	2,033	799	0	1,234	▲ 58.5%
小計	73,347	72,523	15,321	2,608	57,203	▲ 22.0%
廃棄物部門	1,118	1,216	156		1,060	▲ 5.2%
うち一般廃棄物	547	534	87		447	▲ 16.3%
うち産業廃棄物	571	682	69		613	7.30%
工業プロセス部門	1,763	1,865	545		1,320	▲ 25.1%
小計	2,881	2,881	3,081	701	2,380	▲ 17.4%
合計	76,228	75,604	16,022	2,608	59,583	▲ 21.8%

「家庭部門」及び「業務部門」は、4主体のうち「家庭のエネルギー消費」「事務所のエネルギー消費」に対応しています。また、「一般廃棄物」は「家庭ごみ」「事業系ごみ」の合計値です。

※ 電力排出係数の低下による削減分。2013年度係数は実績値(0.521t-CO₂/千kWh)、2030BAUは直近の5年平均(0.418t-CO₂/千kWh)、2030年度は国の「長期エネルギー需給見通し」の値(0.367t-CO₂/千kWh)を使用しており、BAUからの排出係数の低下による削減分を示しています。(2030BAU:0.418t-CO₂/千kWh, 2030対策後:0.367t-CO₂/千kWh)

6-2 その他の温室効果ガス排出量・削減量等

二酸化炭素以外の温室効果ガス削減量については、それぞれのガス種別ごとに、国の温暖化対策計画で示された削減量をもとに、県と国の2013年度の排出量の比を用いて按分して算出しています。

森林吸収等については、特定間伐等の実施の促進に関する基本方針に基づく森林整備が2030年度まで維持されるものとして2030年度の吸収量を算定・計上しています。

なお、三ふっ化窒素（NF₃）は2015年度から温室効果ガスの算定対象に含まれることとなったため、削減量を見込んでいません。

表6-2-1 千葉県の二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量・削減量及び森林吸収量

(千t-CO₂)

部門	2013年度①	2030年度 BAU②	削減量③	2030年度 ④ ②-③	2013年度比 (④-①)/①
メタン	472	351	43	308	▲ 34.7%
一酸化二窒素	939	869	54	815	▲ 13.2%
フロン類等	350	497	280	217	▲ 37.9%
うち HFCs	187	361	227	134	—
うち PFCs	68	33	21	12	
うち六ふっ化硫黄	43	51	32	19	
うち三ふっ化窒素	52	52	0	52	
小計	1,761	1,717	377	1,340	▲ 23.9%
森林吸収等	-63	—	66	-66	▲ 5%
合計	1,698	1,717	453	1,274	▲ 24.9%

6-3 千葉県の温室効果ガス排出量

目標を設定した4主体及びその他の取組による削減を進めると、千葉県全体の排出量は6,085万7千t-CO₂、2013年度比で▲22%となります。

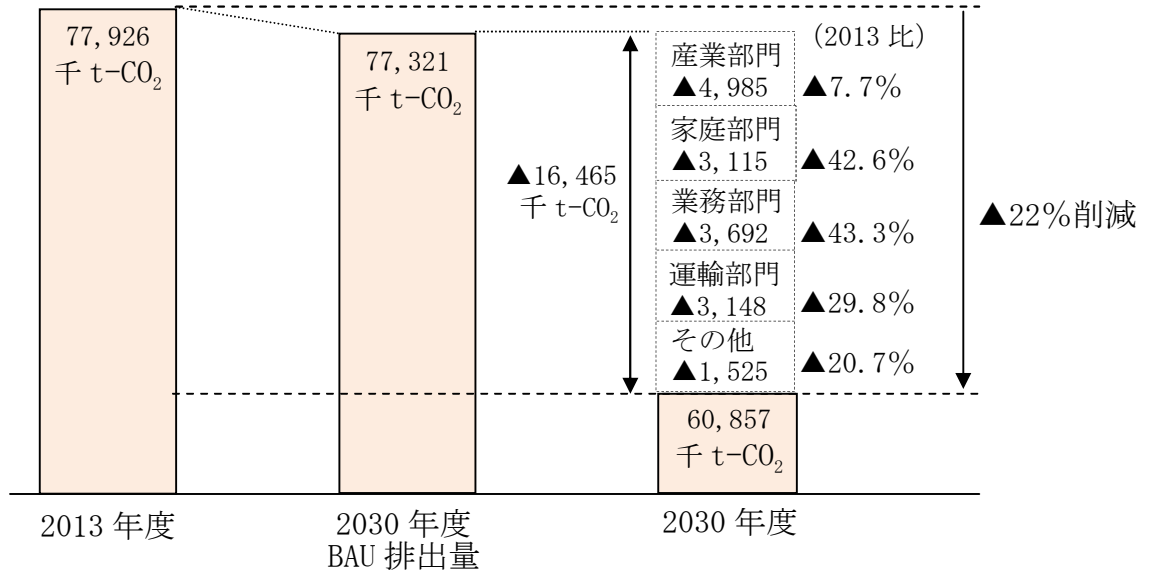


図6-3-1 2030年度の温室効果ガス排出量と部門別削減量

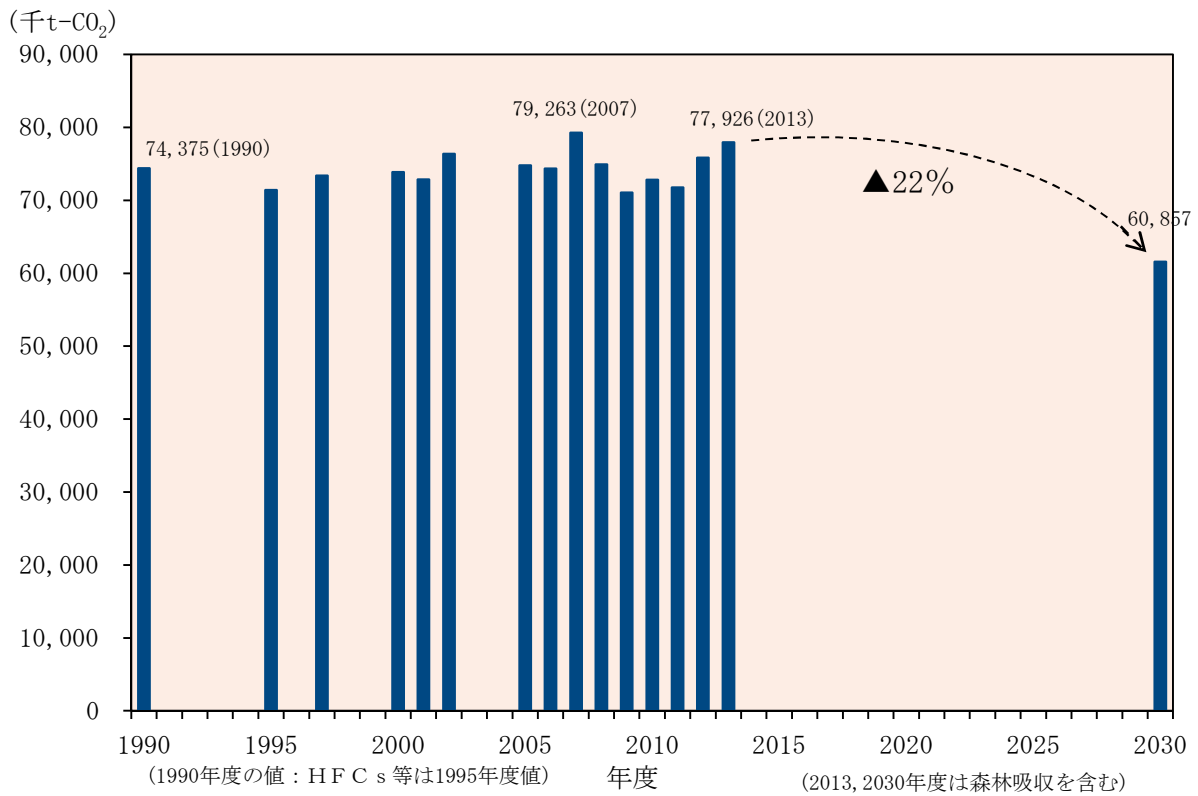


図6-3-2 千葉県の温室効果ガス排出量の推移

表6-3-1 2030 年度の温室効果ガス排出量

(千t-CO₂)

部門	2013 年度①	2030 年度 BAU ②	削減量③		2030 年度 ④ ②-③	2013 年度比 (④-①)/①	
				うち電力排 出係数分※			
エネルギー起源 二酸化炭素	エネルギー転換部門	4,767	4,139	380	1	3,759	▲ 21.1%
	産業部門	36,199	38,399	4,985	973	33,414	▲ 7.7%
	うち製造業	35,057	37,232	4,720	973	32,512	▲ 7.3%
	うち非製造業	1,142	1,167	265	0	902	▲ 21.0%
	家庭部門	8,798	8,168	3,115	718	5,053	▲ 42.6%
	業務部門	11,686	10,315	3,692	845	6,623	▲ 43.3%
	運輸部門	11,897	11,502	3,148	72	8,354	▲ 29.8%
	うち自動車旅客	5,570	5,553	1,536	72	4,017	▲ 27.7%
	うち自動車貨物	3,355	3,916	813	0	3,103	▲ 7.5%
	その他	2,972	2,033	799	0	1,234	▲ 58.5%
小計	73,347	72,523	15,321	2,608	57,203	▲ 22.0%	
非エネルギー起源 二酸化炭素	廃棄物部門	1,118	1,216	156		1,060	▲ 5.2%
	うち一般廃棄物	547	534	87		447	▲ 16.3%
	うち産業廃棄物	571	682	69		613	7.3%
	工業プロセス部門	1,763	1,865	545		1,320	▲ 25.1%
小計	2,881	3,081	701		2,380	▲ 17.4%	
二酸化炭素以外	メタン	472	351	43		308	▲ 34.7%
	一酸化二窒素	939	869	54		815	▲ 13.2%
	フロン類等	350	497	280		217	▲ 37.9%
	うち HFCs	187	361	227		134	—
	うち PFCs	68	33	21		12	
	うち六ふっ化硫黄	43	51	32		19	
	うち三ふっ化窒素	52	52	0		52	
小計	1,761	1,717	377		1,340	▲ 23.9%	
森林吸収等	-63	—	66		-66	▲ 5%	
合計	77,926	77,321	16,465	2,608	60,857	▲ 21.9%	

2013 年度と 2030 年度の排出量合計には森林吸収等を含んでいます。

※電力排出係数の低下による削減分。2013 年度係数は実績値 (0.521 t-CO₂/千 kWh)、2030BAU は直近の 5 年平均 (0.418 t-CO₂/千 kWh)、2030 年度は国の「長期エネルギー需給見通し」の値 (0.367t-CO₂/千 kWh) を使用しており、BAU からの排出係数の低下による削減分を示しています。